東住吉区地域福祉サポート事業にかかる事業評価結果

（１）事業の実施状況の評価

評価	左記の理由
3.3	コロナ禍で活動停止期間もあったなか、地域の相談窓口業務や関係機関へのつなぎの役割を果たすべく事業実施できていることは評価できる。 今後の課題として、相談内容の実情把握をより丁寧に行う必要がある。

（２）事業の実施体制の評価

評価	左記の理由
2.7	事業遂行に必要な実施体制が整備されているものの、相談件数からみられる地域課題の検証が出来ておらず地域福祉サポーターへのスキルアップ支援も出来ていない。 今後は地域福祉サポート業務における目標達成に向け地域課題の検証を速やかに行い地域支援へつなげる必要がある。

（３）目標の達成状況

評価	左記の理由
2.8	≪「地域相談窓口の運用と促進」について≫ ・地域相談窓口、地域福祉サポーターの認知度アップへの周知活動は評価できるが地域福祉サポーターの活動状況やアンケート実施の方法や結果の検証が出来ていない。 今後は上記検証を行い課題解決に向け速やかに地域福祉サポーターが携われるように改善を行う必要がある。 ≪「区・区社協との連携『東住吉区地域福祉計画』策定に向け情報の収集と整理」について≫ ・　コロナ禍の中、高齢者の課題把握について情報収集に努めたことは評価できる。 今後は新たに生じた地域課題の把握や支援方法の検証と対策を PDCA サイクルを活用し行う必要がある。 ≪「見守り相談室との連携」について≫ ・コロナ禍の中で、見守りや助け合い活動が行いにくい中でも、支援を必要とする方々の情報を共有し支援数を増加させたことは大きく評価できる。 今後は地域差へのフォローに取り組むことが必要である。 ≪「生活支援コーディネーターとの連携」について≫ ・地域の抱える課題（高齢者が集まれる場所やその場所づくり）については情報共有が出来ている事は評価できる。 今後は、その地域課題の解決に向けての検証を行い地域の活性化に役立てる必要がある。

※評価指標については別紙を参照

委員の評価

（１）事業の実施状況の評価

評価点	X 委員	Y 委員	Z 委員
	4.0	3.0	3.0

（２）事業の実施体制の評価

評価点	X 委員	Y 委員	Z 委員
	3.0	2.0	3.0

（３）目標の達成状況

評価点	X 委員	Y 委員	Z 委員
	2.9	2.5	3.0

主な意見等

・活動全体についてはコロナ禍の中、14 地域の地域福祉サポーターはじめ見守り相談室、生活支援コーディネーターとの連携もスムーズに行い相談件数の増加などの成果を上げたことは評価できる。

・コロナ禍の中で見えてきた新たな地域課題に対してアンケートや相談内容の検証を行い速やかに適切な支援を行う必要がある。また PDCA サイクルを通じて受託者のコーディネート能力の向上や地域福祉サポーターの更なるスキルアップを期待する。